

キャリアラダーレベルⅡ教育計画

2019 年度

研修名	看護の核となる実践能力	勤労者看護	組織的役割遂行能力	自己教育・研究能力
ねらい (目的)	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践できる	勤労者看護を意識して看護を実践する	組織の一員としての役割を理解し部署の目標達成に向けて行動できる	自己の課題を明確化し達成に向けた学習活動を展開できる
目標	1. ケアの受けてや状況を自らとらえる 2. ケアの受けてや状況に応じた看護を実践する 3. 看護の展開に必要な関係者を特定情報交換ができる 4. ケアの受けてや周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	1. 必要なツールを用いて情報収集ができる 2. 勤労者看護業務基準を活用できる	1. 部署の一員としての役割を理解し部署の目標達成に向けて行動する	1. 指導を受けながら自己成長の課題を発見し取り組む
eラーニング	○日常の看護ケアで考える倫理 ○看護師向け身体診察 中級編 ○看護記録～中堅編～ ○患者の相談・苦情 ○感染対策の具体 ○感染対策の概論 ○新興・再興感染症 ○『動画』をとおして認知症患者に対するアセスメント、コミュニケーションを学ぶ ○認知症患者に対する物理的な環境調整 ○認知症患者の回復を促進する援助技術－日常生活動作に焦点を当てて ○急変対応 ○聴く力 ○病院看護師が行う入退院支援 ○カンファレンス参加の心得		○災害への備え ～部署ごとの対応の実際～	○キャリアデザインとキャリア開発
オンデマンド	○ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスの理解 ○地域包括ケアシステムを形成する施設・職種・制度			
集合研修	○人工呼吸器研修 (10月8日) ○二次救命処置研修 (11月12日) ○意思決定支援インフォームドコンセント(講師:院内緩和ケア認定Ns) (9月10日) ○退院支援、調整について(講師:退院調整看護師)(5月10日) ○地域スタッフの役割(講師:ケアマネージャー・調剤薬局)(11月6日)	○勤労者看護		
OJT	□院内留学 □各セクションで3事例/年の倫理事例検討に参加 □SBARについて、セーフティマネージャーからの講習(各セクションごとに実施)			
院外研修	○県看護協会・日本看護協会(ラダーレベルⅡ相当)研修 ○学会参加			
提出物	□ケースレポート(ゴードンを参考にした標準疾患について) □院内留学レポート □各セクションで行った倫理事例検討3事例 □退院支援事例 □当院/ハイリスク薬の作用・副作用をまとめる(医薬品マニュアル参照3薬品)	□レポート ・勤労者インタビュー ・勤労者介入した内容のレポート		□看護に関する文献検索リスト
役割担当			□その日の担当看護師 □受け持ち看護師 □セクション内の係	
参考書籍 院内マニュアル	○病気が見えるシリーズ ○退院調整マニュアル ○看取りに関する法規やガイドライン			